社会資本総合整備計画 事後評価書 令和03年08月23日

快適で安全な港	流電性の数件(ルポイ									
	湾境現の整備(地域活	性化)								
平成27年度	~ 平成31年度	(5年間)						重点配分対象の該当		
和歌山県										
・放置艇対策に	より快適な水域環境や	周辺景観の保全を推進するこ	とで、港湾利用者と地域	域住民の安全と安心を確保する	9					
・泊地、係船く	い及び係船柱を整備す	ることにより大型船の荷役対	効率の向上を図る。							
費(百万円)	合計(A + B + C + I	D) 2,890	0 A 2,	820 B 0	C 7	0 D	0 効果促進事業費の割合 C /	(A + B + C + D)	2.42	%
	平成 2 7 年度 和歌山県 ・放置艇対策に	平成27年度 ~ 平成31年度 和歌山県 ・放置艇対策により快適な水域環境や ・泊地、係船くい及び係船柱を整備す	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間) 和歌山県 ・放置艇対策により快適な水域環境や周辺景観の保全を推進するこ・泊地、係船くい及び係船柱を整備することにより大型船の荷役交	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間) 和歌山県 ・放置艇対策により快適な水域環境や周辺景観の保全を推進することで、港湾利用者と地域・泊地、係船くい及び係船柱を整備することにより大型船の荷役効率の向上を図る。	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間) 和歌山県 ・放置艇対策により快適な水域環境や周辺景観の保全を推進することで、港湾利用者と地域住民の安全と安心を確保する。 ・泊地、係船くい及び係船柱を整備することにより大型船の荷役効率の向上を図る。	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間) 和歌山県 ・放置艇対策により快適な水域環境や周辺景観の保全を推進することで、港湾利用者と地域住民の安全と安心を確保する。 ・泊地、係船くN及び係船柱を整備することにより大型船の荷役効率の向上を図る。	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間) 和歌山県 ・放置艇対策により快適な水域環境や周辺景観の保全を推進することで、港湾利用者と地域住民の安全と安心を確保する。 ・泊地、係船くい及び係船柱を整備することにより大型船の荷役効率の向上を図る。			

		計画	 画の成果目標(定量的指	標)				
番号		定量的指標の現況値及び目標値						
留写	定量的指標の定	義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
						(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	・和歌山下津港及び日高港に不法係留する放置艇331隻(和歌山下津港:309隻	・日高港:22隻)のうち、	港湾施設において、H3/	年度:	までに、294隻の放置船	を収容する。		
	収容施設整備の推進による、H27年度以降の放置艇収容隻数を算出する。					0%	53%	89%
	(放置艇収容隻数の割合) = (放置艇収容隻数/現況の放置艇隻数:331隻)×10	0 (%)						
2	・新宮港において、大型船の入港回数を増加させる。 (入港回数 H28現況【H27d実	績】:21回 H31:28回)			_		
ı	泊地整備の推進による大型船の入港回数を算出する。					21回	回	28回
	(大型船の入港回数)(回)							
ı								
						T		
·								
ı						T	1	1
ı				—				
	備老等	個別施設計画を含む -	 国土強靱化を含む	$\overline{}$	定住自立圏を含む -	連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む	- 地域再生計画を含む -
	(拥有等		国上独勢化を召び		たは日立圏を召び -	理携中枢部中圏を含む	- 流域小個壊計画を含む	- 地場冉生計画を召び -

		事業	地域	交付	直接	= 244 +	1 4 Dil 4	1 4 11 1	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実施	施期間(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H27 H28	H29 H30 H31	(百万円)	便益比	策定状況
		一体的に	実施する	ることによ	り期待る	される効果	•									•
		備考														
事業		港湾	一般	和歌山県	直接	-	拠点	建設	小型船係留施設の建設 (-	水深D=-2.0m、延長L=730m、	和歌山下津港・			64		-
	A02-001								2.0m物揚場、泊地)	面積0.5h	内港地区					
		1-A-1 (H					_									T
		港湾	一般	和歌山県	直接	-	拠点	改良	小型船係留施設の建設(水深D=-1.5m、延長L=300m、	和歌山下津港・			480		-
	A02-002								小型船係留施設、泊地)	面積0.9h	冷水地区					
		1-A-2 (H	26시 휴1	۸ 116)												
		港湾		和歌山県	士 +☆		拠点	改良	小型船係留施設の建設(水深D=-2.0m、延長L=520m、	和歌山下津港・			500		
	A02-003	冶汽	一般	和歌山宗	且按	-	拠点	以民						500		-
	7.02 000								小型船係留施設、泊地)	面積1.0h	琴の浦地区					
		1-A-3(新	折規)													
		港湾	一般	和歌山県	直接	-	拠点	建設	小型船係留施設の建設(物揚場L=200m、防波堤L=260m	和歌山下津港・			750		-
	A02-004								小型船係留施設、泊地)		有田地区					
		1-A-4 (H	26以前1	-A-79)												
		港湾		和歌山県	直接		重要	改良	小型船係留施設の建設(水深D=-2.0m、延長L=56m、面	日高港・恒屋地			53		Τ_
	A02-005	/E/S	אניו	和吸收	百政		主女		小型船係留施設、泊地)	積0.2h						
										1						
		1-A-5 (H	26以前1	-A-6)												
		港湾	一般	和歌山県	直接	-	重要	改良	小型船係留施設の建設(水深D=-2.0m、延長L=50m、面	日高港・西川地			53		-
	A02-006								小型船係留施設、泊地)	積0.3h	区					
		1-A-6 (H	261시 하1	-Δ-7)												
		1-A-0 (11	Z00XBij i	- N- 7)												1

接別 接別 対象 開設 対象 開設 等等者 推別 作別 推別 (事業箇所) (選長・面積等) 港湾・地区名 比7 化2 化2 化3 化3 化3 で で で で で で で で で		事業	地域	交付	直接	古光士	1 1 1 1 1 1	1 4 Dil 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業実	施期間	引(年度)	全体事業費	費用	個別施設計
横考	番号	種別	種別	対象	間接	事業者 	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名						
本語		一体的に		ることによ	り期待	 される効果		1	1		1	-			1		
A02-007		備考															
1-A-7 (新規)		港湾	一般	和歌山県	直接	-	地方	改良	泊地の建設 (-11.0m泊地	水深D=-11.0m、面積0.2h	新宮港・三輪崎				520		-
本湾 一般 和歌山県 直接 一地方 改良 岸壁の機能強化 係船くい、係船柱、泊地拡幅 新宮港・三輪崎 地区 1-A-8 (新規) 小計 2,820 1	A02-007)		地区						
A02-008 港湾				1	1	1					I .				1		
A02-008		1-A-7(新	新規)														
A02-008		港湾	一般	和歌山県	直接	-	地方	改良	岸壁の機能強化	係船くい、係船柱、泊地拡幅	新宮港・三輪崎				400		-
1-A-8 (新規)																	
小計 2,820											1						
小計 2,820		1-A-8 (\$	新規)														
			17770								/l\ ≜ +		Т		2 820		
会計 2,820											13.81				2,020		
合計 2,820																	
									1		△ ±1		_		0.000		
											百町				2,820		
				1		I			1	1	ı		_		1		
				1		T			T		1		_		1 1		
									_	_							
				·										·			
	1			1	1	1			I	1	1						
		A02-007	番号 種別 —体的に 備考 A02-007 A02-007 1-A-7(新港湾	番号 種別 種別 種別 一体的に実施する 備考 港湾 一般 1-A-7(新規) 港湾 一般 A02-008	番号 種別 種別 対象 -体的に実施することによ 備考 A02-007 港湾	番号 種別 種別 対象 間接 -体的に実施することにより期待な 備考 - A02-007 - A02-007 - A02-008 - 港湾 - 般 和歌山県 直接 - A02-008 - A02-008	番号 種別 種別 対象 間接 ^{事業者} -体的に実施することにより期待される効果 備考 A02-007 1-A-7 (新規) 港湾 一般 和歌山県 直接 - A02-008	番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 1 -体的に実施することにより期待される効果 備考 - A02-007 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 - A02-008 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方	番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 1 種別 2 一体的に実施することにより期待される効果 備考 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 1-A-7 (新規) 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 A02-008	番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 1 種別 2 (事業箇所) -体的に実施することにより期待される効果 備考 A02-007 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 泊地の建設(-11.0m泊地) 1-A-7(新規) 本湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 岸壁の機能強化	番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 1 種別 2 (事業箇所) (延長・面積等) -体的に実施することにより期待される効果 備考 本湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 泊地の建設(-11.0m泊地 水深D=-11.0m、面積0.2h)	番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 種別 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 - 体的に実施することにより期待される効果 備考 - A02-007 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 泊地の建設(-11.0m泊地 水深D=-11.0m、面積0.2h 新宮港・三輪崎地区 1-A-7 (新規) - A02-008 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 岸壁の機能強化 係船くい、係船柱、泊地拡幅 新宮港・三輪崎地区 - 1-A-8 (新規)	番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 1 種別 2 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H27 H26 一体的に実施することにより期待される効果 備考 A02-007 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 泊地の建設(-11.0m泊地 水深D=-11.0m、面積0.2h 新宮港・三輪崎 地区 1-A-7(新規)	種別 種別 対象 間接 事業者 種別 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H27 H28 H29 H29	番号 種別 種別 対象 間接 ^{事業者} 権別 1 種別 2 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H27 H28 H29 H30 H31 一体的に実施することにより期待される効果 備考	番号 種別 種別 対象 間接 事業者 種別 種別 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H27 H28 H29 H30 H31 (百万円) 一体的に実施することにより期待される効果 備考 A02-007 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 泊地の建設(-11.0m泊地 水深D=-11.0m、面積0.2h 新宮港・三輪崎 地区 1-A-7(新規) A02-008 港湾 一般 和歌山県 直接 - 地方 改良 岸壁の機能強化 係船くい、係船柱、泊地拡幅 新宮港・三輪崎 地区 400 1-A-8(新規)	種別 種別 対象 間接 事業者 種別 種別 (事業箇所) (延長・面積等) 港湾・地区名 H27 H28 H29 H30 H31 (百万円) 便益比 一体的に実施することにより期待される効果 横考 一般 和歌山県 直接 一 地方 改良 泊地の建設(-11.0m泊地 水深D=-11.0m、面積0.2h 新宮港・三輪崎 地区 地区 地区 地区 地区 地区 地区 地

C 効果促進事業		事業	地域	交付	直接				要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業3	実施其	間(年	度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	ラス 種別	種別	対象	間接	車 苹 耂	種別 1	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名							策定状況
_113/26 (74)	3					⊥ される効果	1		1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 .3/3 2—4	1 1.	-	- 1	1	(-, 3, 13)		1
		備考																
港湾事業		港湾	一般	和歌山県	直接	直接	-	-	駐車場整備事業(内港地	小型船係留施設の駐車場整備	和歌山下津港・					70		-
	C02-001								☑)	事業	内港地区							
		港湾事業	(A02-0	01)と一1	体的に実	└ ≷施することI	により、信	系留施設(- 車を防止し、周辺	環境の	維持を	を図る。		l l		1
		1-C-1 (H	26以前1	-C-8)														
											小計					70		
I								1								<u> </u>		1
											合計					70		
					1		1	I										
							1			I.	1							1
										<u>I</u>	1							
															Т			
				1		1	1	1	l	l								1
													Т					
						1		<u> </u>			1							1
							Τ						\top					
I																		

	事後	評価	
事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
和歌山県県土整備部にて評価		令和3年8月	
		公表の方法	
		和歌山県ホームページにて公表	
主 业社 B & 37日 117日			
事業効果の発現状況	「日享港の故署解収変施設の字成により 日享後	き内の放置艇を全て収容した 和画	カル大津港については、内港地区、右田地区で施
	設整備が完了し、放置艇を収容しており、快通	B内の放量艇を主て収合した。和間 適な水域環境を保全している。	次山下津港については、内港地区、有田地区で施 大型船の着岸が可能となり、特に大型のクルーズ
	新宮港の泊地の建設、岸壁の機能強化が完了し 船の寄港が可能となったため、大型船の入港回	ったことにより、整備前と比べて フ	^{大型船の着岸が可能となり、特に大型のクルーズ}
定量的指標に関連する	「船の奇冷かり能となったため、人型船の八冷區 	当数が増加した。	
交付対象事業の効果の発現状況			
	クルーズ船の寄港回数増加により地域経済の乳	能展に寄与した。	
定量的指標以外の交付対象事業の			
効果の発現状況(必要に応じて記述)			
特記事項 (今後の方針等)			
未完成の箇所については、早期完成に	泊け引き続き事業進捗を図る。		

	標値の達		
-	指標(略	スカル S称)	
番号	目標値/	11797 宇绪値	目標値と実績値に差が出た要因
	放置部川	_ ス順間 【容隻数の割合	口が他と天浪他に左が山に女凶
1	最終目標値		地元やプレジャーボート所有者との調整に日数を要したため、目標値を達成できなかった。整備中の施設が台風被害により手戻りを余儀なく されたため、目標値を達成できなかった。
	最 終 実績値	77%	
	大型船σ) 入港回数	
2	最 終 目標値	28回	施設整備は完了したものの、新型コロナウィルス感染拡大の影響により予定していたクルーズ船の寄港ができなかったため、目標値を達成で きなかった。
	最 終 実績値	27回	
		<u> </u>	

1